

クリエイティブライティング e

担当 小倉史

授業概要

映像シナリオ執筆のための基礎を身につける。

箱書きやト書きなどの書き方の基礎から始め、実際に短編シナリオを書くとともに、書いたシナリオを互いに講評し合うことで、文章表現・映像表現双方の可能性を探る。また、実際に映像作品を観たり、プロのシナリオを読み込んだりといった作品研究を通して、自らの作品の糧とする。

授業計画

- 第1回 イン트로ダクション ～映像シナリオとは～
- 第2回 シナリオの書き方・基礎① 書式・原稿用紙の使い方
- 第3回 シナリオの書き方・基礎② 映像でしかできない表現とは
- 第4回 シナリオの書き方・基礎③ テーマと構成
- 第5回 シナリオの書き方・基礎④ 起承転結とハコ書き
- 第6回 シナリオの書き方・基礎⑤ 時間経過の表現
- 第7回 シナリオの書き方・基礎⑥ 人物・人間関係の描写
- 第8回 シナリオの書き方・基礎⑦ セリフとト書き
- 第9回 シナリオの書き方・基礎⑧ さらに面白くするために
- 第10回 テーマ① 手紙 作品研究とアイデア出し
- 第11回 テーマ① 手紙 講評会
- 第12回 テーマ② 鏡 作品研究とアイデア出し
- 第13回 テーマ② 鏡 講評会
- 第14回 テーマ③ 親子 作品研究とアイデア出し
- 第15回 テーマ③ 親子 講評会

コメント

シナリオの書き方を教わりながら、テーマの担当ごとに書いてきたシナリオを授業で発表し、批評しあいます。

先生からの評価だけでなく、生徒同士での話し合いによって様々な意見やアイデアを学べます。

評価方法

合評会の際の発言等授業への参加度（40％）と課題シナリオの提出状況・内容（60％）により、総合的に評価する。